平成２３年１１月７日

各　　位

会社名　　アグロ カネショウ株式会社
代表者　　代表取締役社長　櫛引　博敬
（コード番号 4955 東証第２部）
問合せ先　　取締役経営企画本部長　角田　俊博
（TEL　03－5570－4711）

研究開発体制の再構築について

当社グループは、社会的使命である安全性が高く環境負荷の少ない農薬の開発・供給を目指すために、このたび研究開発体制の再構築を行うことといたしましたのでお知らせいたします。

１．研究開発体制の再構築について

(1) 研究開発体制の再構築を行う理由

世界の人口が増加し続ける一方耕地面積は限られ、農産物の増産は日本のみならず世界的な課題となっております。一方で、農薬がなければ農産物の収量は半減するとも言われており、農薬の果たす役割はますます高くなっていると考えられます。

そうした事業環境のもと、安全性が高く環境負荷の少ない農薬の開発・供給は、農薬メーカーの社会的使命であると考えております。当社グループはこれまでも農薬の研究開発に取り組んでまいりましたが、社会のニーズに応えるべく、研究開発のレベルアップを図るために、研究開発体制の再構築に着手することにいたしました。

(2) 研究開発体制再構築の内容

研究開発活動推進のために、研究開発拠点の移転・拡大と、研究開発人員の増員を実施いたします。新たな拠点として、世界有数の農薬メーカーであるバイエル

社の日本法人バイエル クロップサイエンス株式会社（以下「BCS 社」という）が本年 12 月末の閉鎖を決定した、茨城県結城市に所有する結城中央研究所の土地及び建物・設備を当社が譲り受けることとし、本日契約を締結いたしました。この契約の実行は平成 24 年 1 月初旬を予定しております。また BCS 社からは既に研究員若干名を受け入れました。その上で埼玉県所沢市に有する生物研究部門を結城市に移転し、富里農場に代わる農場と合せて、新たに当社「結城事業所（仮）」として拡大、運用することとなります。

当社はこの生物研究部門の移転により、質的・量的な研究内容の強化・拡充を進めるとともに、新規薬剤の開発スピードアップを図ります。それにより、社会的使命として当社に求められている、安全性に優れ、より効果が高く、環境への負荷が少ない農薬の研究・開発を促進してまいります。今回の研究開発体制の再構築が、当社の事業の発展・拡大のための重要なステップになるものと考えております。

２．今後の見通し

研究開発体制の再構築にあたり移転のための費用などが発生いたしますが、今期の業績に与える影響はありません。

以上

＜当社が取得する結城事業所（仮）の概要＞

＊ 取得予定日：平成 24 年 1 月初旬

＊ 所在地：〒307-0001　茨城県結城市結城 9511-4

＊ 敷地面積：

2 万 9 千平方メートル（敷地）

1 万 9 千平方メートル（試験圃場）